

令和7年度 大会参加共通事項

1 参加資格

1. 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
2. 選手は神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で当該競技要項により参加資格を得た者であること。
3. 令和7年度(財)全日本柔道連盟にオンライン登録を完了した者であること。
4. 年齢制限は次のとおりとする。
 - (1) 関東大会・総合体育大会は平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
 - (2) 国民スポーツ大会は平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
 - (3) 関東選抜大会は平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) 神奈川県新人大会は平成19年4月2日以降に生まれた者とし、令和7年4月以降当該校在学者であるとする。ただし、同一学年の出場は1回限りとし、2年生までとする(定時制は3年生までとする)。
 - (5) 選手権大会は平成19年4月2日以降に生まれた者(令和7年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍)とする。ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
5. チーム編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
6. 転校後6ヶ月未満の者は出場できない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。
7. 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校・校長の承認を得ること。なお、競技中の疾病・障害などの応急処置は神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が行うが、その後の責任は負わない。参加者は必ず「健康保険証」を持参すること。
8. 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。
9. 参加資格の特例
 - (1) 上記Ⅰ-1・2に定める生徒以外で当該競技実施(大会)要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - (2) 上記Ⅰ-4のただし書きについて、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。ただし、選手権大会は2回限りとする。
10. 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること(短期留学は認めない)。
11. 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める(統廃合の対象校の大会参加にかかわる特別処置-関東大会・総合体育大会・選手権大会本大会)
12. 県内大会団体合同チーム〔統廃合の対象となる学校を除く〕での参加については後述されている「合同チームでの大会参加について」を参照する。

1 3. 県内団体試合の参加について

県内大会においては、試合の規定人員（補欠を含む人数）に満たない学校の参加も認めるが、県内大会を予選会とする上位大会には、規定人員等の参加資格を満たしていない学校は代表校として推薦されない。この場合、条件を満たしている学校を対象として、常任委員会が代表校を選考する。

1 4. 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。

1 5. 「脳しんとう対応について」（平成 24 年 4 月 1 日～ 全日本柔道連盟通達事項）に関する扱いは以下のとおりとする。

- (1) 大会前 1 ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することはできない。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局および神奈川県柔道連盟に対し、書面により速やかに事故報告書を提出すること。

2 皮膚真菌症（トングランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1. 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、神奈川県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2. 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

- ① 神奈川県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ③ 各学校にあっては、各大会への出場条件が満たされていること。
- ④ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が他の高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ① 神奈川県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

3 全日本柔道連盟（全柔連）登録について

部顧問はオンラインにて、指導者登録または顧問登録および審判ライセンス登録を行う。詳しくは全柔連ホームページ（<http://www.judo.or.jp/>）で確認する。

※指導者登録および審判ライセンス登録は有資格者のみ行う。

4 大会参加 申し込み方法について

1. 申し込みについて

(1) 申込方法について

- ① 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部ホームページから申込書（Excel ファイル）をダウンロードする。
- ② 必要事項を入力した後、事務局へ申込書（Excel ファイル）をメールにて添付・送信する。
- ③ 申込書（Excel ファイル）をプリントアウトし、事務局（県立鶴見総合高等学校）へ郵送する。

(2) 申込期間について

申込期間最終日に必着するように郵送で申し込む。申込期限の過ぎたものはいかなる理由でも受け付けない。

※申込書の締め切りが一部を除き月曜日です。金曜日に普通郵便で投函した場合、月曜日に到着しない可能性があります。その場合は速達・書留・レターパックなどを利用してください。

(3) 申込先

郵送先

〒230-0031 横浜市鶴見区平安町 2-28-8 県立鶴見総合高等学校内
神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部 事務局 栃本 章太 宛

申込書（Excel ファイル）メール送信アドレス

tochimoto-4nk@pen-kanagawa.ed.jp

(4) 封筒には「○○○大会申込書 在中」と朱書き（赤記入）する。

(5) 学校長の認印のないものは無効とする。※認印＝校長印 捺印

(6) 原則 1 名以上審判もしくは競技役員として申込書に顧問氏名の記入をすること。

（審判もしくは競技役員を行う職員には高体連が昼食を準備する。）

2. 参加料

(1) 所定の預金口座（振込先）に振り込むこと。

(2) 申込期間内に振り込むこと。

(3) 預金口座（振込先）

- ① 銀行名・支店：横浜銀行 横浜駅前支店（店番号 383）
- ② 口座番号：普通 6525385
- ③ 口座名：神奈川県高体連柔道専門部 会計 栃本章太

振り込みの際に振込依頼人には「高体連コード」その後に「学校名」を（個人名は不可）入力すること。

（例）県相模原中等教育学校 → 6 0 3 6 ケンサガミハラチユウトウ

(4) 振り込みにかかる手数料は各校で負担すること。

(5) 所定の預金口座（振込先）以外の振り込みは認めない。

（注）全日本ジュニア関東地区予選神奈川県予選会の振り込み口座のみ別の口座なので全日本ジュニア関東地区予選神奈川県予選会を要項記載の振り込み口座を確認すること

3. 団体の部における合同チームでの大会参加について

(1) 合同チーム参加については以下のようにする。

① 大会参加の条件

ア. 団体試合の付帯条件として、勝ち上がっても上位大会（本大会）には出場できない。

イ. 合同チームの編成方法について

- a. 男子団体の部の全国総合体育大会神奈川県予選会、全国選手権大会神奈川県予選会の合同チーム編成は、3校合同までとし、3校の部員合計数が6名以内の学校同士とする。
- b. 女子団体の部の全国総合体育大会神奈川県予選会、全国選手権大会神奈川県予選会の合同チーム編成は、3校合同までとし、部員数2名以内の学校同士とする。
- c. 神奈川県新人大会 男子・女子団体の部3人制の合同チーム編成は、3校合同までとし、部員数2名以内の学校同士とする。

ただし、委員長の許可を得ればこの限りではない。

② 編成委任について

神奈川県新人大会に限り、合同チーム編成が困難な学校は、常任委員会へ編成を委任することができる。その際は申込書に必要事項を記入すること。

③ 参加料について

ア. 1校分（1チーム）の参加料とする。

男子2チーム合同	¥4,500／1チームあたり	3チーム合同	¥3,000／1チームあたり
女子2チーム合同	¥3,000／1チームあたり	3チーム合同	¥2,000／1チームあたり

イ. 出場する各学校から参加料を振り込むこと。

④ 申し込みについて

両校とも合同チーム全員の氏名等を記入すること。

5 受付・引率について

1. 各学校の引率責任者は大会当日本部にて受付を行うこと。受付をしない場合は失格とする。
受付時間は各大会要項に記載。

2. 当該高等学校長の認めた引率者がいない場合は、試合に出場できない。

6 計量規定について

1. 計量は受付時間内に行うこと。
2. 個人の部では自分の出場番号をプログラムで確認し、計量係に「学校名・階級・出場番号・氏名」を伝えて、計量を受けること。計量合格の場合は、必ず検印を受けること。
3. 団体の部では、必ず計量カードを持参すること。計量合格の場合は、計量カードにも検印を受け、試合ごとに試合場に提出すること。
4. 計量は、団体・個人試合を問わず、すべての階級で実施する。無差別級においても計量場所にて検印を受けること。
5. 計量の結果、体重超過者は失格とする（団体試合の体重計測の結果、失格になったところはその体重区分の補欠のみを補充すること）。

7 公開抽選会（神奈川県 団体の部 予選会）について

1. 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部主管のすべての団体試合の組み合わせは、公開抽選により組み合わせを行う。必ず各学校1名以上の顧問または生徒が出席すること。

2. 会場・日時は次のとおりとする。

（1）会場：浅野高等学校（住所：横浜市神奈川区子安台1丁目3-1 電話：045-421-3282）

（2）日時

① 関 東 大 会：令和7年4月16日（水）午後3時00分

② 全国総合体育大会：令和7年5月21日（水）午後3時00分

③ 神奈川県新人大会：令和7年10月22日（水）午後3時00分

④ 選 手 権 大 会：令和7年12月10日（水）午後3時00分

欠席の場合は常任委員による代理抽選とする。その際は必ず事前にその旨を地区委員長に連絡する。連絡なく欠席した場合は、無断欠席校となる。その場合は、ペナルティーが科せられるか、または、試合への参加がでなくなる場合がある。

（1）川崎地区委員長 福壽 亮 桐光学園高等学校・・・ 電話 044(987)0519

（2）横浜地区委員長 峯岸義則 日本大学高等学校・・・ 電話 045(560)2600

（3）横三地区委員長 濱名 淳 横須賀学院高等学校・・・ 電話 046(822)3218

（4）湘南地区委員長 仲島達也 日本大学藤沢高等学校・・・ 電話 0466(81)0123

（5）西相地区委員長 中島慎二 立花学園高等学校・・・ 電話 0465(83)1081

（6）北相地区委員長 水落健太 東海大学付属相模高等学校・ 電話 042(742)1251

3. 組み合わせ結果は出席した学校に配付し、後日、ホームページに掲載する。

8 団体試合掲示用オーダー表の作成について

1. 関東大会県予選・総体団体の部のオーダー表用紙は大会受付時に配布する。新人大会・選手権県予選団体の部のオーダー表用紙は神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部ホームページにアップロードしてあるデータをダウンロードし各校で作成をする。

2. 各校で作成したオーダー表は大会時に受付へ提出する。その際、登録選手の順番を本部で照合する。

3. 大会当日にオーダー表を忘れた学校は、直ちに本部に申し出て、指示を受ける。

9 荒天時の大会（試合）中止の判断について

朝6時の時点において県全域または、県西部（県央、西湘、足柄上、相模原全域）または、県東部（横浜・川崎、三浦半島、湘南地域すべて）に、大雨・洪水・暴風3つの警報が発令された場合、または、大雪・暴風雪2つの警報が発令された場合は、大会（試合）を中止とする。ただし、神奈川県代表決定を要する場合は、常任委員会で検討して開催する場合もある。その開催の通知はメールにて通知する。

10 大会運営（大会準備・受付・開閉会式・片付け等）について

下記のとおり各地区割り当て、持ち回りで行う。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 関東高等学校柔道大会神奈川県予選会 | 団体・・・・・・・・・・・・横浜地区 |
| 2. 全国高等学校総合体育大会神奈川県予選会 | 団体・個人・・・・・・・・・・・・横三・湘南・西相地区 |
| 3. 国民スポーツ大会神奈川県選考会 | 少年男子の部・・・・・・・・・・・・川崎・北相地区 |
| 4. 関東高等学校選抜柔道大会神奈川県予選会 | 個人・・・・・・・・・・・・川崎・北相地区 |
| 5. 神奈川県柔道新人大会 | 団体・・・・・・・・・・・・横浜地区 |
| 6. 全国高等学校柔道選手権大会神奈川県予選会 | 個人・・・・・・・・・・・・横浜地区 |
| 7. 全国高等学校柔道選手権大会神奈川県予選会 | 団体・・・・・・・・・・・・横浜地区 |

1 1 大会会場について

1. 実施会場：シンコースポーツ神奈川県立武道館（住所：横浜市港北区岸根町 725 電話：045-491-4321）
2. 会場利用について
 - (1) 更衣は決められた場所で行い、それ以外の場所に不用意に立ち入らない。
 - (2) 貴重品は各学校で保管する。
 - (3) 食事は決められた場所以外では行わない。
 - (4) 各自のゴミは責任を持って持ち帰る。
 - (5) 必ず避難経路を確認する。避難時は係員の指示に従う。
 - (6) 公共の交通機関を利用して来場する。試合会場では一般利用者向けの駐車場が少ないため、自家用車で来場しない。

1 2 試合規定・申し合わせ事項

1. 国際柔道連盟試合審判規定とする。
2. 試合時間は本大会に準ずる。
3. 申し合わせ事項は次のとおりとする。
 - (1) 直接的な「反則負け」があった場合は、試合後速やかに本部（審判長）に報告する。なお、その選手は、その後の一連の試合には出場できない。団体戦の場合は大将戦の終了後に報告をする。
 - (2) 投げられた者が相手以外の人や物（椅子、長机等）にあたった場合は、審判員で合議をして技の効果を判断する。
 - (3) 審判員が異動後 1 年未満は、前任校の審判に携わらない。これに該当する方は各試合場の審判主任へ申告する。
 - (4) 審判員は必ず審判服・エンブレム・ネクタイを着用する。なお、略服は審判長の判断に委ねる。
4. 個人の部 優勢勝ちの判定基準
個人の部においては、「技あり」「僅差」（指導の差 2）以上とする。判定基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、判定の基準は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

1 3 団体試合 予選リーグ戦 順位決定について

- リーグ戦の順位決定は次による。
- ア. リーグ戦におけるチーム対チームとの勝敗は次による。
 - (a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (b) (a) で同等の場合は、「一本」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - (c) (b) で同等の場合は、「技あり」による優勢勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - (d) (c) で同等の場合は、代表戦を行い必ず勝敗を決する。
 - イ. リーグ戦の順位は 2 勝、1 勝 1 敗、2 敗の順位とする。（ただし代表戦の結果は以下の順位対象としない）
 - ウ. イで同等（1 勝 1 敗）の場合はリーグ戦を通じて勝ち数の多いチームを上位とする。
 - エ. ウで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - オ. エで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - カ. オで同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
 - キ. カで同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - ク. キで同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - ケ. クで同等の場合は、代表戦を行い必ず勝敗を決する。
 - コ. 4 チームリーグ戦は変則リーグで行う。上位チームが同率で対戦していない場合は決定戦を行う。
同率とはイで同等の場合を言う。

14 身だしなみ・振る舞いについて

1. 役員・監督・指導者

- (1) 身だしなみ（服装・髪型・髪の色等）を整え、品位を保ち、礼法においても、範を示す。
- (2) 監督・指導者は開会式・閉会式時に上席側の整列を心掛ける。
- (3) 試合場におけるコーチの振る舞いは次のとおりとする。

平成 24 年 4 月 1 日～ 全日本柔道連盟より「試合場におけるコーチの振る舞いについて」通達されたが、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部（以下、柔道専門部）が主催・主管で行う大会会場においてコーチボックスや試合会場と観覧席の仕切りの設置ができないことがある。その環境では当然に大会会場としては不適切であり全柔連の条文を遵守するのは困難を極める。そこで、柔道専門部としては「コーチ」を「監督や引率顧問」と同様と見なし、条文の詳細は努力目標として扱い、以下の内容に置き換えて実施する。

① コーチ（監督・引率顧問）の言動

ア. 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。

イ. 次の行為を禁止する。

- a. 審判員の判定に対し、コメントや批判、あるいは訂正を要求すること。
- b. 対戦相手、審判員、役員、観覧客、及び当該選手を侮辱するような行為をすること。
- c. その他、柔道精神に反する行為をすること。

② 原則として、コーチは審判員に準じた服装とする。

③ 上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

ア. 1 回目は審判員が合議の上、口頭による注意をする。

イ. 1 回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、その責任下にその試合が終了するまで、試合場フロア（本部席・役員控室含）の外へ退去させる。ただし、試合はその後も続行するものとする。

ウ. 次の試合からは、またコーチとして着くことができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合会場への入場を禁止する場合がある。

2. 選手

- (1) 身だしなみ（服装・髪型・髪の色等）を整える。
- (2) 柔道選手としてふさわしい行動をとる。
- (3) 選手は開会式後の試合会場内での音響機器（例 ヘッドホン・イヤホン）の使用をしない。

15 神奈川県高等学校体育連盟昇段ポイント制度について

神奈川県高等学校体育連盟 主催・主管で行われる大会は、昇段ポイントの対象となる。詳細は別紙の「神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部による昇段推薦受験試合成績証明書の発行について」を参照のこと。

16 その他

不明な点などの問い合わせは、事務局長まで

連絡先

神奈川県高体連柔道専門部

事務局長 栃本 章太

メール tochimoto-4nk@pen-kanagawa.ed.jp

17 高体連加盟コード

加盟校コード一覧（令和6年度）

川崎地区

コードNo	学校名
1001	県麻生
1002	県麻生総合
1003	県生田
1004	県生田東
1005	大西学園
1006	カリタス女子
1007	県川崎
1008	県川崎(定)
1009	市川崎
1010	市川崎(定)
1011	県川崎北
1012	県川崎工科
1013	市川崎総合科学
1014	市川崎総合科学(定)
1015	市幸
1017	県新城
1018	県昔
1019	県住吉
1020	洗足学園
1021	県大南
1022	市高津
1023	市高津(定)
1024	市橘
1025	市橘(定)
1026	県多摩
1027	桐光学園
1028	日本女子大附
1029	法政二
1030	県向の岡工
1031	県向の岡工(定)
1032	県百合丘
1033	川崎市立豊

横浜地区

コードNo	学校名
2001	浅野
2002	県旭
2003	飛鳥未来
2005	県磯子工
2006	県磯子工(定)
2007	県市ケ尾
2008	県荏田
2009	県金井
2010	神奈川学園
2011	県神奈川工
2012	県神奈川工(定)
2013	県神奈川総合
2014	神奈川大附
2015	市金沢
2016	県金沢総合
2017	県釜利谷
2018	県上矢部
2019	県川和
2020	関東学院
2021	関東学院六浦
2022	県岸根
2023	県希望ヶ丘
2024	県希望ヶ丘(定)
2025	県霧が丘
2026	公文国際
2027	クラーク横浜
2028	慶応義塾
2029	県港北
2030	県光陵
2031	横浜翠陵
2032	市桜丘
2033	サレジオ
2034	秀英
2035	県商工
2036	県松陽
2037	県城郷
2038	県新栄
2039	聖光学院

コードNo	学校名
2040	星槎
2042	星槎横浜
2043	清心女子
2046	聖ヨゼフ学園
2047	捜真女学校
2048	英理女子
2049	橘学園
2050	県田奈
2051	中大附属横浜
2052	県鶴見
2053	県鶴見総合
2054	鶴見大学附属
2055	桐蔭学園
2056	桐蔭学園中等教育学校
2057	市戸塚
2058	市戸塚(定)
2059	県永谷
2060	県新羽
2061	日大高
2062	県白山
2063	白鵬女子
2064	県柏陽
2065	市東
2067	日々輝学園横浜
2068	フェリス女学院
2069	富士見丘
2070	武相
2071	県二俣川看護福祉
2072	法政国際
2073	県保土ヶ谷
2074	県舞岡
2075	市みなと総合
2076	市南
2077	県元石川
2078	森村学園
2079	山手学院
2080	横浜
2081	青山学院横浜英和
2082	県横浜桜陽
2083	横浜学園
2084	県横浜旭陵
2085	県横浜国際
2086	市サイエンスロンティア
2087	県横浜栄
2088	県横浜修悠館
2089	横浜商大
2090	市横浜商
2091	横浜女学院
2092	県横浜翠嵐
2093	県横浜翠嵐(定)
2094	横浜清風
2095	県横浜清陵
2096	横浜創英
2097	横浜創学館
2098	市横浜総合
2099	県横浜立野
2100	県横浜南陵
2101	横浜隼人
2102	県横浜平沼
2103	横浜雙葉
2104	県横浜緑ヶ丘
2105	県横浜緑園
2106	横浜市立ろう特別支援
2107	星槎YGS
2108	県横浜明朋
2109	八洲学園横浜
2110	県横浜水取沢
2111	クラーク青葉
2112	星槎(通)
2113	県横浜瀬谷

横三地区

コードNo	学校名
3002	県追浜
3003	県追浜(定)
3004	県海洋科学
3005	湘南学院
3007	逗子開成
3009	聖和学院
3010	県津久井浜
3012	三浦学園
3014	緑ヶ丘女子
3015	県横須賀
3016	県横須賀(定)
3017	県横須賀大津
3018	横須賀学院
3019	県横須賀工
3020	市横須賀総合
3021	市横須賀総合(定)
3024	県横浜修悠館横須賀
3025	県三浦初声
3026	県横須賀南
3027	県逗子葉山

湘南地区

コードNo	学校名
4001	アレセイア湘南
4002	栄光学園
4003	県大船
4004	県鎌倉
4005	鎌倉学園
4006	鎌倉女学院
4007	鎌倉女子大高
4008	北鎌倉女子
4009	鶴沼
4010	慶応藤沢
4011	県寒川
4012	県七里ガ浜
4013	県湘南
4014	県湘南(定)
4015	湘南学園
4016	湘南工科大附
4017	湘南白百合
4018	県湘南台
4019	清泉女学院
4020	県茅ヶ崎
4021	県茅ヶ崎(定)
4022	県茅ヶ崎西浜
4023	県茅ヶ崎北陵
4024	県鶴嶺
4025	藤嶺藤沢
4026	日大藤沢
4027	県深沢
4028	県藤沢工科
4029	藤沢翔陵
4030	県藤沢清流
4031	県藤沢総合
4032	県藤沢西
4033	聖園女学院

西相地区

コードNo	学校名
5001	旭丘
5002	県足柄
5003	県大井
5004	県大磯
5005	県小田原
5006	県小田原(定)
5007	県小田原城北工
5008	県小田原城北工(定)
5009	県小田原東
5010	函嶺白百合学園
5011	県西湘
5012	相洋
5013	県高浜

コードNo	学校名
5014	立花学園
5015	県二宮
5016	平塚学園
5017	県平塚工科
5018	県平塚江南
5021	県平塚湘風
5022	県平塚中等教育
5024	県山北
5025	県吉田島
5026	県平塚ろう
5028	星槎湘南
5029	県高浜(定)
5030	県平塚農商
5031	鹿島山北

北相地区

コードNo	学校名
6001	県愛川
6002	県相原
6003	県麻溝台
6004	県厚木
6005	県厚木北
6007	県厚木清南
6008	県厚木清南(定)
6009	県厚木清南(通)
6011	県厚木西
6013	県綾瀬
6014	県綾瀬西
6015	県有馬
6016	県伊志田
6017	県伊勢原
6018	県伊勢原(定)
6019	県海老名
6020	柏木学園
6022	県神奈川総合産業
6023	県神奈川総合産業(定)
6024	県上鶴間
6025	県上溝
6026	県上溝南
6027	クラーク厚木
6028	向上
6029	光明相模原
6030	県相模向陽館
6031	相模女子大高
6032	県相模田名
6033	県相模原
6036	県相模原中等教育
6037	県座間
6038	県座間総合
6039	自修館
6041	聖セシリア女子
6042	県中央農
6043	県津久井
6044	県津久井(定)
6045	東海大相模
6046	県橋本
6047	県秦野
6048	県秦野総合
6049	県秦野総合(定)
6050	県秦野曾屋
6051	日々輝学園神奈川
6052	麻布大附
6054	県大和
6055	県大和西
6056	県大和東
6057	県大和南
6059	東海大望星生蘭
6060	星槎厚木
6061	科技高大和
6063	県相模原弥栄
6064	県相模原城山
	県厚木王子

神奈川県高等学校体育連盟ホームページにて確認をしてください。